

地域・観光交流センターの上棟式で安全を祈願

3月21日、旧小林駅舎に建設を進めている「地域・観光交流センター（仮称）」の建設現場で上棟式を行い安全を祈願しました。南保育園とこすもす保育園の園児ら約60人が参加。建設中の建物からまかれたお菓子やお餅を園児らは歓声を上げながら拾っていました。



お菓子やお餅を拾う園児ら。施設は6月末に完成予定で、観光協会や宮崎交通バス営業所、研修室や展示場などの機能を備える予定です



市青年団協議会を中心に約200人が恒例の「こばやし発!! 走れぞうれっしゃ」を歌い、平和や命の尊さを伝えました

地域・家庭・学校で子育て教育フォーラムを開催

3月12日、学校・家庭・地域の教育フォーラムを文化会館で開催しました。児童生徒、保護者、教員や地域住民など約900人が来場。学校と地域との協働による新たな学校モデル構築事業や子育て紙芝居、今年で18回目となる「こばやし発!! 走れぞうれっしゃ」の発表などを行いました。

小林の絶景を楽しみながらウォーキング通して交流

2月25、26日に「第19回みやざきツアーデーマーチ・こばやし霧島連山絶景ウォーク」を開催しました。北海道から沖縄まで、2日間で述べ2000人が参加。参加者は、三之宮峡や陰陽石、出の山公園、生駒高原など市内各観光施設を巡る5キロから30キロまでの8つの各コースを歩きました。



市内各地で地域住民らによる、おもてなしも行われ参加者らは交流を深めながら思いのペースでウォーキングを楽しみました



社会福祉協議会の種子田興市会長は「民間事業者の力添えをいただき、市民一体となった支援体制を構築していきたい」とあいさつしました

官・民協働で情報共有し安心・安全なまちを目指す

2月22日、地域見守り応援活動推進事業の協定締結式が行われました。高齢者などで支援が必要な人の見守り活動を推進するため、社会福祉協議会、12の地元企業、警察署、民生委員児童委員協議会と市が協定を締結。相互に連携し、住民の異変を察知したときに通報する仕組みなどを整備していきます。

取り組みを紹介します

きずな協働体 今月は、野尻地区

花の咲く心躍る野尻を目指して!

県の事業「美しい宮崎づくり」推進の一環として野尻を横断する国道268号線沿線の美化活動に取り組みました。今回の事業は、小林土木事務所と輝けフロンティアのじりの協働事業として企画され、打合せや現地調査を繰り返してきました。

具体的には道の駅ゆ〜ぱる野尻の国道沿いの土手に地域住民の皆さん200人の協力を

いただき彼岸花、バラの植栽を実施しました。また、今年に入ってから「野尻の中心部国道の街路樹の一部撤去と彼岸花の植栽」、「観光スポットである萩の茶屋近辺の桜の若木への植替とバラの植栽」、「国道沿線の数か所にワイルドフラワー（野生の花の総称）の植栽」などを小林土木事務所に実施して頂きました。



彼岸花の植栽の様子



年間を通して、花の咲く心躍る野尻を目指して!

輝けフロンティアのじり 大畑孝喜さん

ものづくりで地域活性化 東本由佳理さんが協力隊に

3月1日、地域活性化と定住・定着を目的とした総務省の「地域おこし協力隊」事業で、東本由佳理さんを隊員として委嘱しました。前住地は大阪府大阪市で、木版画や染物などの創作活動を展開。地方創生課に所属し、市の資源を使ったものづくりを通して、地域活性化に取り組みます。



東本さんは、「普段は使わなかったり、捨てられるような市内のものを活かして、ものづくりをしたい」と意気込みを話しました



同車には、圧縮空気泡消火装置（CAFS装置）が設備されており、従来より少量の水で効率よく消火活動が行えます

須木地区の消防車両を更新 安心・安全の推進に期待

2月28日、中央消防署須木分遣所の水槽付消防ポンプ自動車1台を更新しました。同日、交付式が行われ署員や議員、消防団など28人が出席。時任幸一郎署長は、「ポンプ自動車を活用し、今後、さらに市民の安心・安全を守るため署員一丸となって努力していきます」とあいさつしました。

交通安全の下敷きと定規を寄贈

2月21日、県自動車整備振興会小林支部が教育委員会に交通安全の下敷きと定規を450セット寄贈しました。



た。斎藤博会長は「児童の交通安全や教育に役立てていただければ」とあいさつ。いただいた下敷きと定規は、市内新小学1年生に配布します。

小林西高、市内6ヶ所で一斉清掃

3月9日、小林西高校の生徒らが「市内一斉清掃」を行いました。同校1・2年生の生徒と教員ら



165人が参加。文化会館、総合運動公園や緑ヶ丘公園など市内6ヶ所に分かれ、ゴミ拾いや草抜き、落ち葉拾いなどを行いました。

女性の社会参画を目指し研修会開催

3月17日、女性の社会参画の推進を目的に「女性リーダー研修会」を開催しました。約30人が参加し、女性組織マネジメントプロコーチの押川美紀さんが登壇。参加者は、リーダーとしてあるべき行動や考え方などの理解を深めていました。



おしかわ み き
女性組織マネジメントプロコーチの押川美紀さんが登壇。参加者は、リーダーとしてあるべき行動や考え方などの理解を深めていました。

新たに3人に人権擁護委員を委嘱

人権擁護委員に中島俊子さん（再任：㊦）、椎屋芳樹さん（新任：㊧）、田中登さん（新任：㊨）が委嘱されました。任期は平成31年12月31日までの3年間。今後、人権相談や人権への理解を深めるための啓発活動などを行います。



任期は平成31年12月31日までの3年間。今後、人権相談や人権への理解を深めるための啓発活動などを行います。

産学金官で連携し地元就職を支援

2月16日、にしもろ産学金官交流会を開催しました。西諸2市1町の産学金官が連携し、異業種交流



や地元就職希望者を支援することを目的に、地元企業や高校、銀行など約140人が参加。宮崎大学の西村勇さんの講演などが行われました。

准看護学校の生徒26人が卒業

3月3日、西諸医師会立小林准看護学校の卒業式がありました。26人の生徒が2年間通った学舎に



別れ。生徒を代表して、庄司綾風さんは「人の命を預かることの重大さと責任を自覚し、看護の道を邁進していきます」と決意を述べました。

地域の防災リーダーを育成

3月12日、地域の防災対策のリーダー的役割を担う市民防災リーダー養成講習会を中央公民館で開催しました。市民ら約60人が参加し、気象の仕組みや救急救命法、ロープワークなど防災に関する基礎知識を学びました。



市民ら約60人が参加し、気象の仕組みや救急救命法、ロープワークなど防災に関する基礎知識を学びました。

まきばの桜まつり開催に向け清掃

3月19日、今年で復活10周年を迎える「まきばの桜まつり」の開催に向けボランティア清掃活動が行われました。細野まちづくり協議会や関係団体、地域住民ら約50人が参加。桜並木周辺の草刈りやごみ拾いなどを行いました。



細野まちづくり協議会や関係団体、地域住民ら約50人が参加。桜並木周辺の草刈りやごみ拾いなどを行いました。